

## 教育部アンケート結果

一般社団法人山形県理学療法士会教育部では、臨床実習指導をより良いものにするために、新人理学療法士を対象にアンケート調査を実施いたしました。ご協力いただきありがとうございました。

【対象】平成 27 年度に開催された新人教育プログラム研修を受講した新人 PT68 名

【調査日】平成 27 年 9 月 6 日

【方法】午前中の講義の休憩時間に調査用紙を配布した。受付に回収箱を設置し、午後の講義が始まるまでに投函していただいた。

\* 本調査における臨床実習とは最終実習（卒業時にもっとも近い時期の臨床実習）の事であり、SV は実習全体を通して直接的な指導を行った者とし、担当症例のみの指導者や間接的に関与した職員は除外した。

【結果】66 名（返信率 97.1%）から返答があった。

### 1-(1) 性別



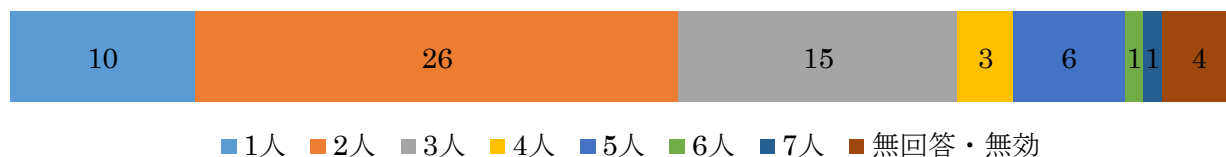
### 1-(2) 現在の所属施設



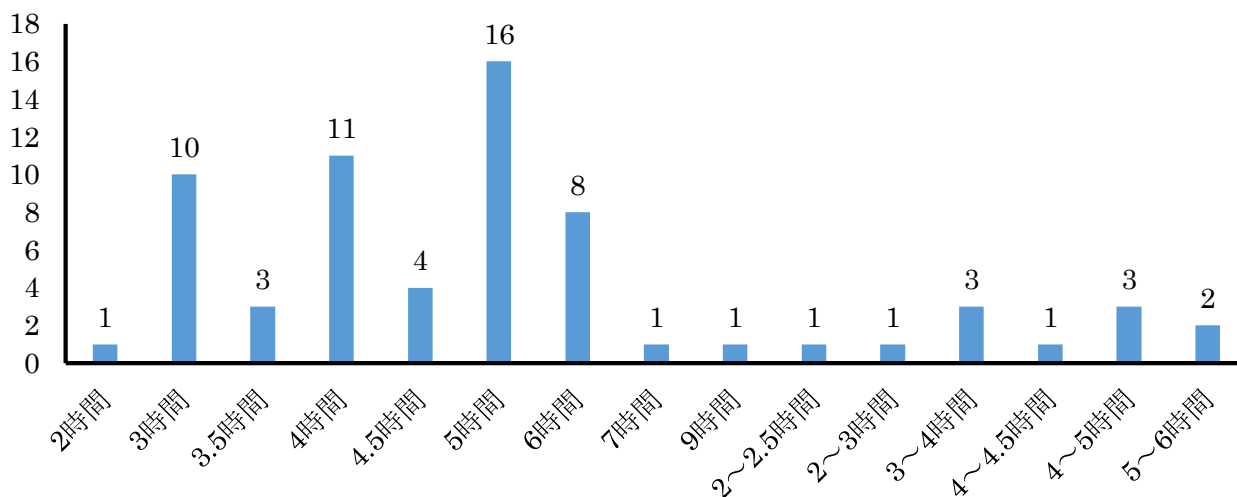
### 1-(3) 実習施設



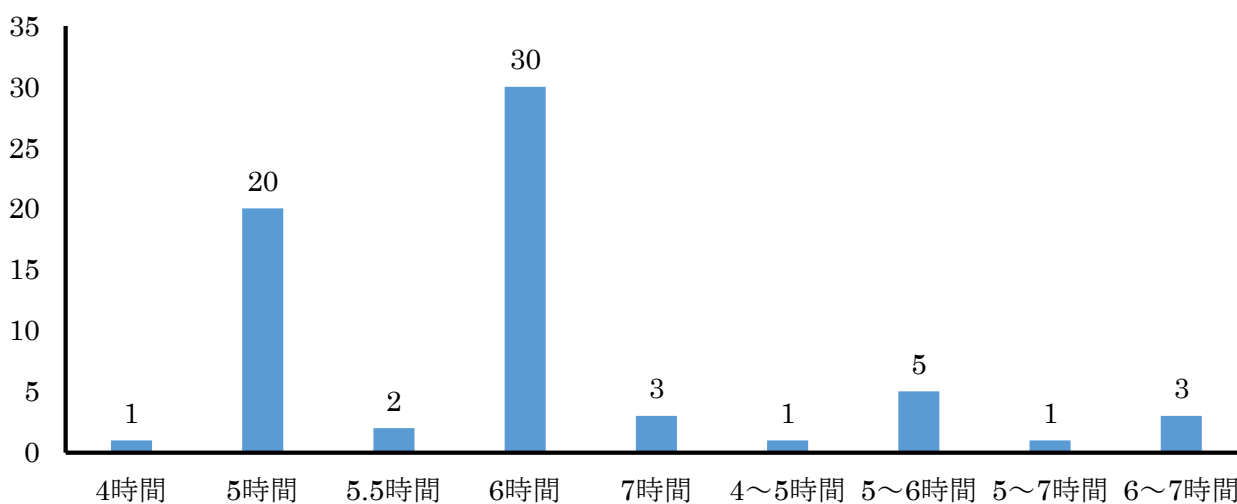
### 1-(4) 実習で担当した症例数



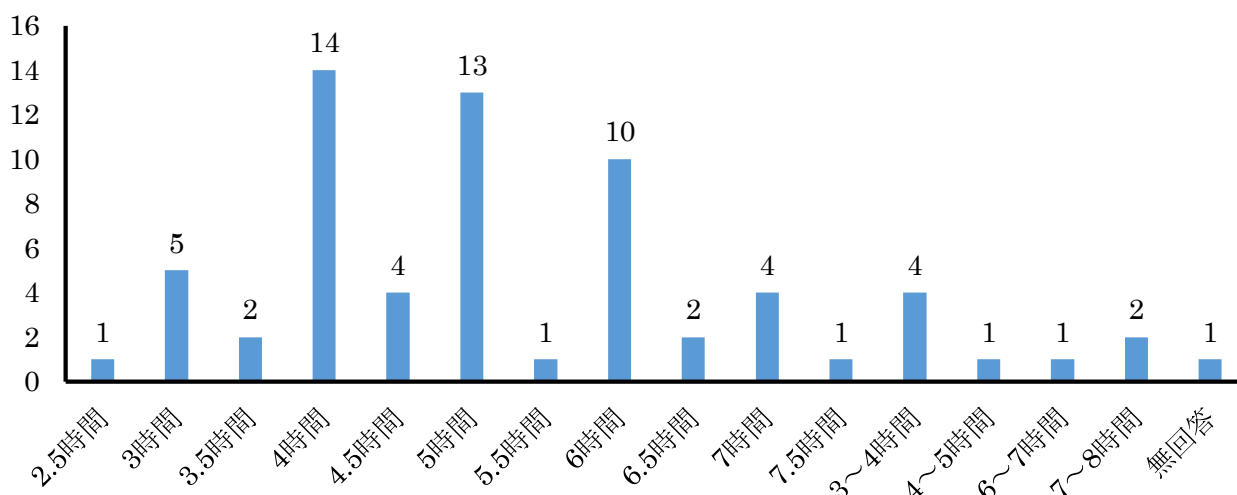
### 2-(1) 実習中の実際の平均睡眠時間



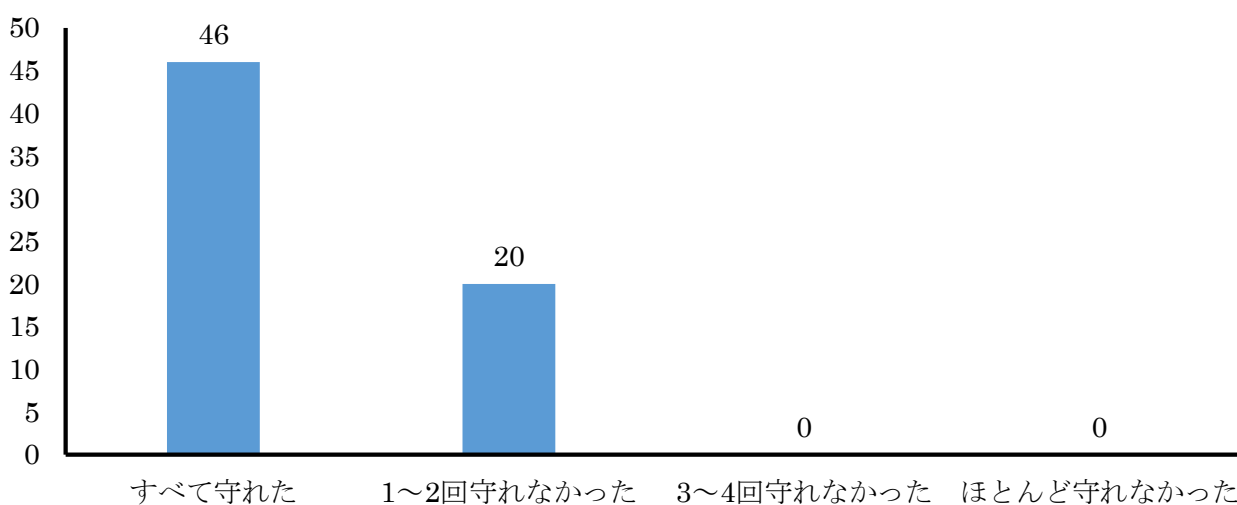
### 2-(2) 実習中の理想の平均睡眠時間



### 3-(1) その日の課題に費やした時間



### 3-(2) 課題の提出期限

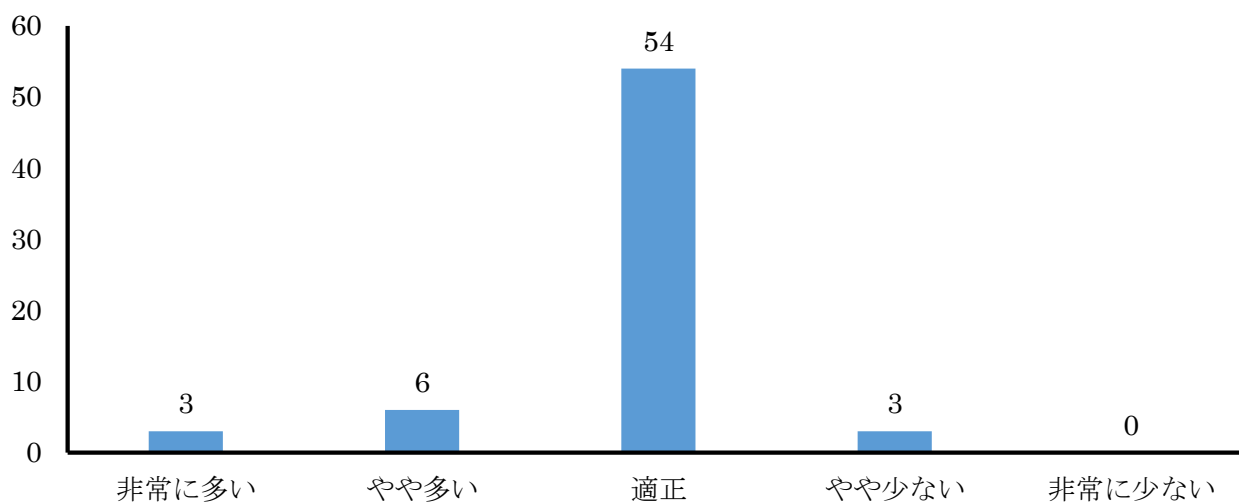


### 3-(3) 提出期限を守れなかった理由

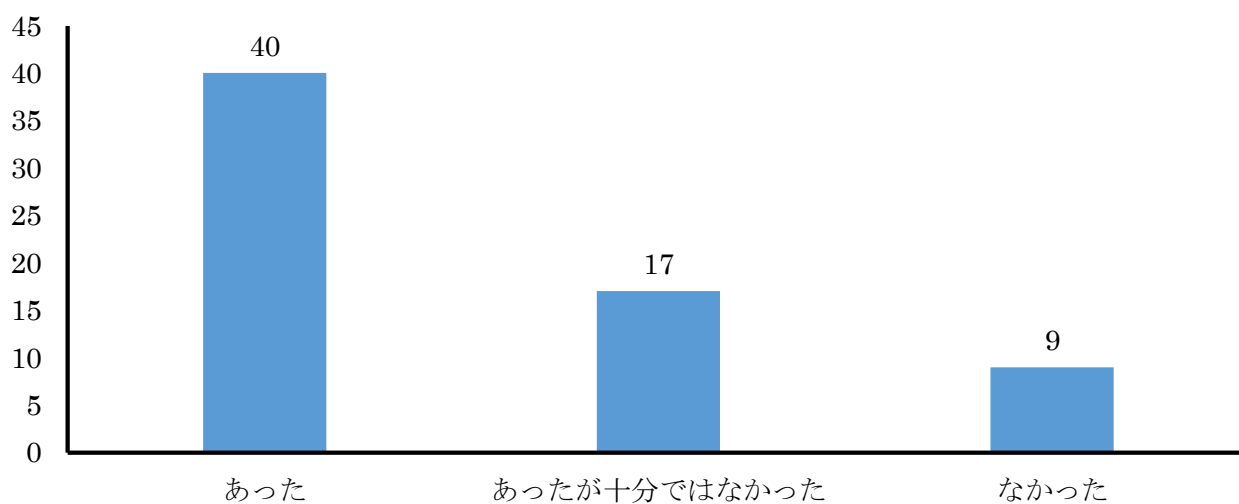
- ・考えがまとまらなかったため
- ・適切な文献や資料を調べるのに時間がかかった
- ・眠ってしまった
- ・課題を提出できなかった
- ・知識不足で十分にまとめる事が出来ず、口頭で報告する場合があります
- ・体調を崩した。調べ物の要点がつかめず、調べ物が終わらなかった
- ・内容をまとめられず、途中で止まってしまった
- ・考察が思うようにまとめる事に時間がかかった
- ・解釈にいきづまり、完成しないまま提出したことがある
- ・印刷できなかった
- ・作成したものを持っていくのを忘れた

- ・課題が終わらなかった
- ・家に忘れてしまった
- ・疲れてしまい寝てしまった。朝「はっ」と気がついて起きたが間に合わなかった
- ・体調不良
- ・間に合わなかった(量の多さと効率の悪さ)
- ・疲労蓄積により睡眠を長くとってしまいレポートを書く時間を作れなかった

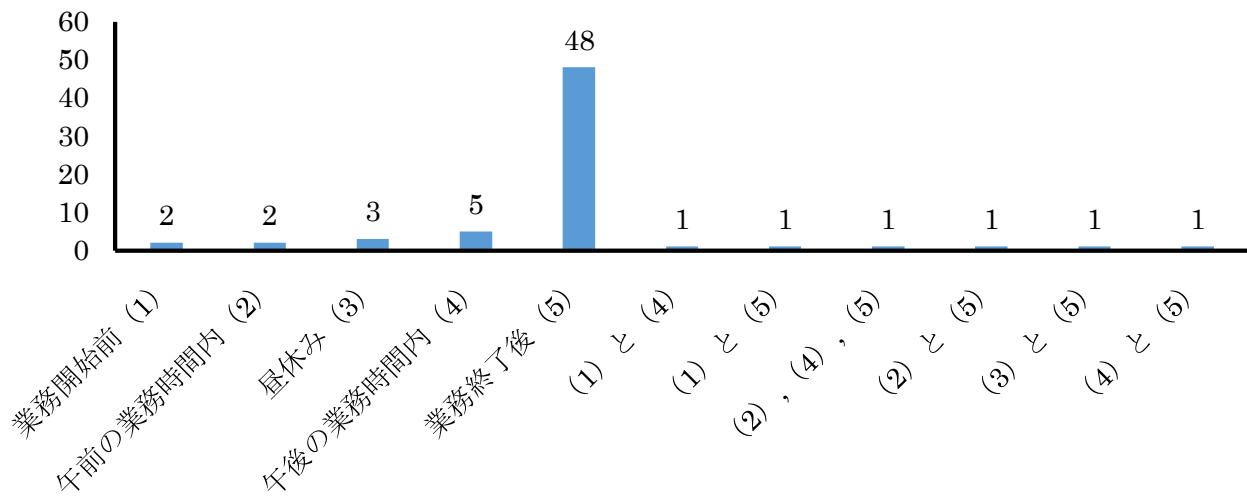
### 3-(4) 課題の量



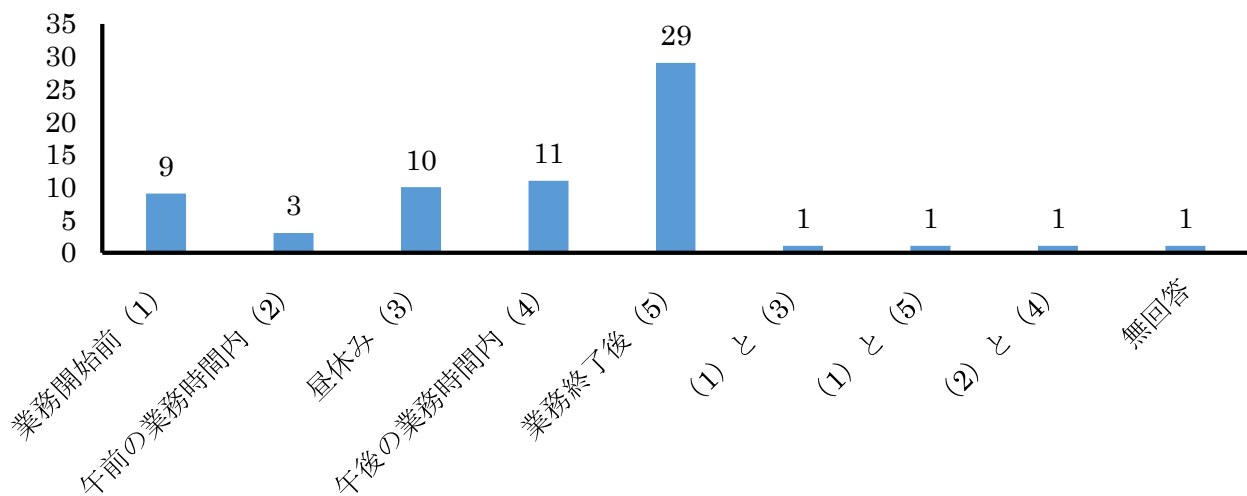
### 3-(5) 実習先の施設には文献等があったか



#### 4-(1) 実際のフィードバックの時間帯



#### 4-(2) 理想のフィードバックの時間帯

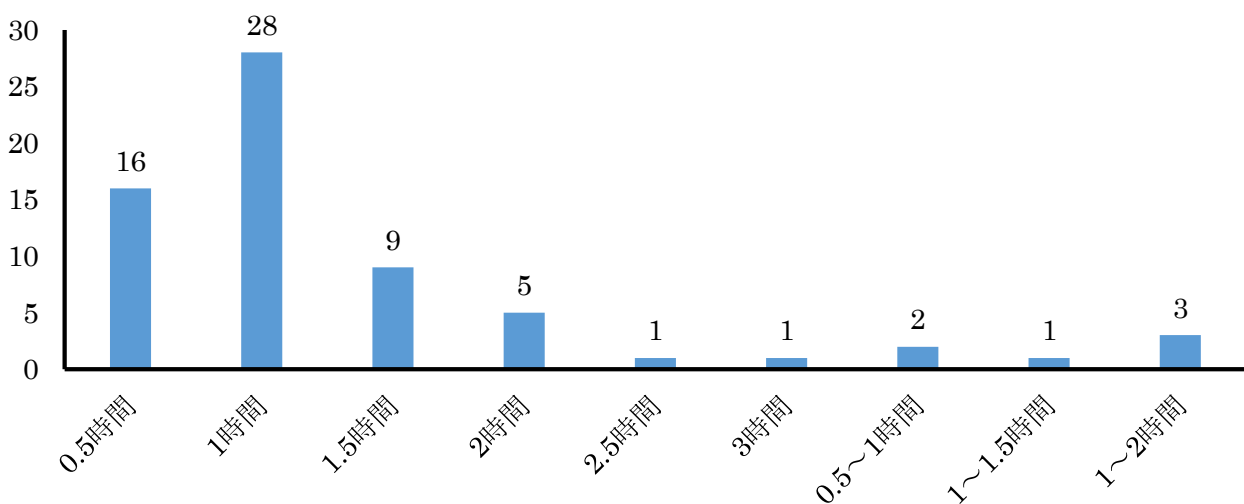


#### 理由の自由記載

- ・SVと学生の時間的余裕があるため
- ・患者の事を業務中に考えているため、フィードバックまで気がまわらない
- ・振り返りができるため
- ・他に比べ時間を気にすることなくフィードバックを受ける事が出来る
- ・課題もあるし、昼休みは調べる事があったり準備があるため
- ・前日の改善点を元に実習できるから
- ・業務終了後では帰宅時間が遅くなる。午前中のうちであれば、前日の反省点を当日の治療時間に活かせるので効率的だと感じた
- ・1日の始まりと終わりに確認事項や反省点をSVと話し合うことが良いと感じるため
- ・業務終了後のみしか受けたことがない
- ・フィードバックをもらってから再評価や介入出来たら良かった
- ・昼休みの時間を使ってレポートの直しやデイリーの記入ができるから
- ・フィードバックが課題に影響する

- ・報告書に記載できなかったところも、その日の関わりの中で確認してからフィードバックに臨むことができるから
- ・患者さんの事に関するフィードバックであればその都度もらった方がわかりやすいし、質問もしやすかったから
- ・患者様がない時間帯になってくるため、空いた時間に修正等ができたため
- ・フィードバックをいただいてから担当させていただいた患者様にアプローチがしたい
- ・考えてきた事をフィードバックしていただいてから実行できるので
- ・その日の改善点はその日のうちに行いたい
- ・1日の振り返り、感じたことを話し、アドバイスしてもらえるから
- ・様々な患者様を見学させていただいたため
- ・昨日疑問に思った事をすぐ解決してその当日に活かすことができた
- ・今日1日を通して質問したい事を気兼ねなく聞けるから
- ・長引かなくて済むから
- ・最も時間に余裕がある時だったから
- ・SVの負担減、学生の課題に取り組む時間の増
- ・業務終了後だと帰宅時間が遅くなる
- ・学生という立場で時間等の良さを感じてはいけないと思う
- ・比較的長い時間がとれるから。デイリーは昼休みでもいいですが、ケースはしっかりフィードバックしてほしい
- ・先生方の仕事も全て終了してからのの方が良いのでは…
- ・帰宅後ケースに対して考える時間が増えるから
- ・患者様に介入する前に指導していただく事ですぐに活かせる
- ・反省点などが明確で、1日が始まってからも意識しやすい
- ・先生も業務があり時間をとってフィードバックをしていただけるから
- ・午前中見た患者様について考えをまとめられたため
- ・ゆっくりできるから
- ・介入する前にフィードバックを頂けると活かしやすい

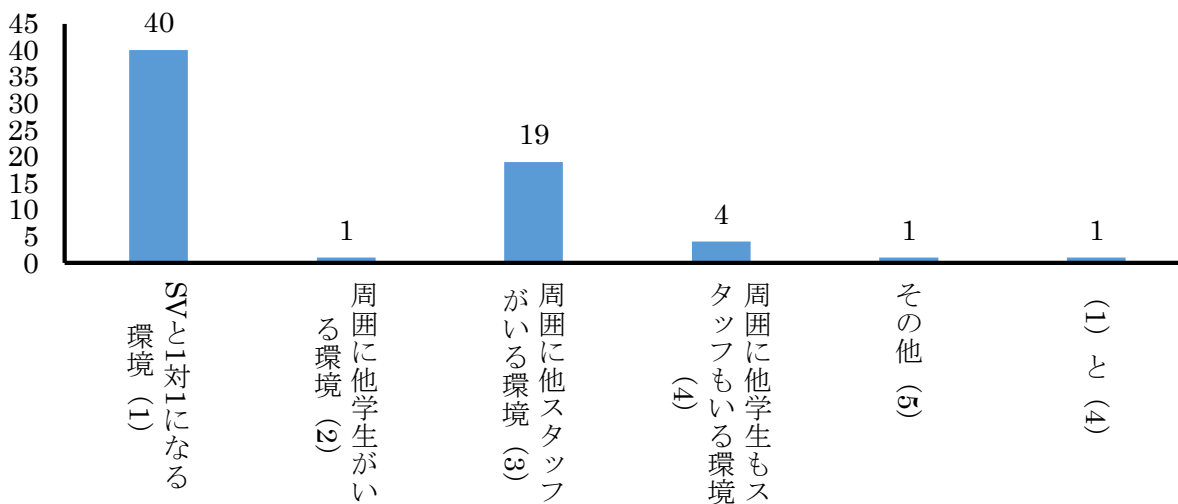
#### 4-(3) フィードバックの平均時間



#### 4-(4) フィードバックの時間はどう感じたか



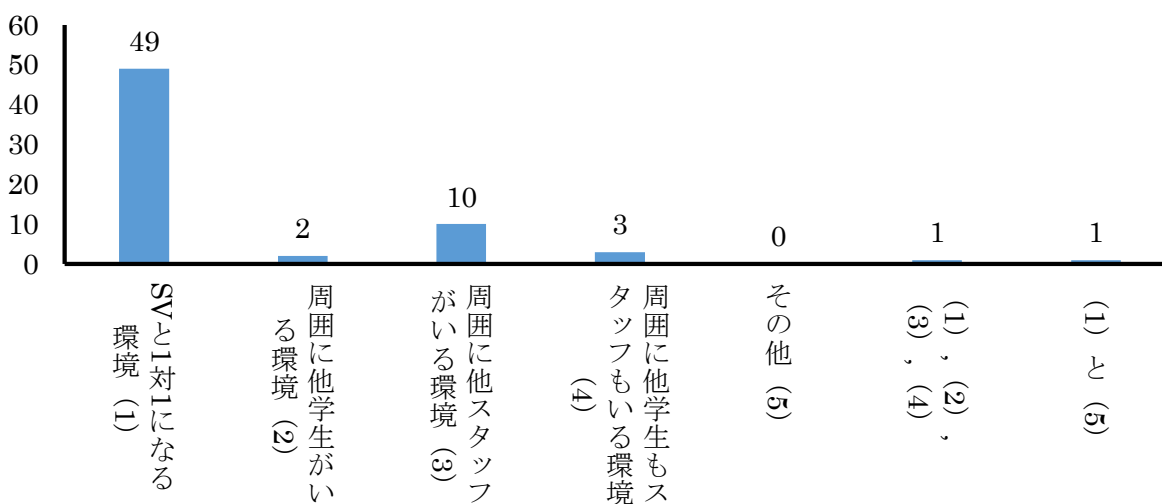
#### 4-(5) 実際のフィードバックの環境



#### その他の自由記載

- ・患者さんとSV という環境

#### 4-(6) 理想のフィードバックの環境



#### 理由

- ・1対1の方が細かい質問がしやすく、周囲の目を気にしないので話しやすい
- ・SVと学生の様子を多くの目で見られると思うから
- ・SVにしか言えない事が多々あったから

- ・怖い感じがする
- ・質問などがしやすい
- ・自分の意見を伝える事が出来るから
- ・周囲が気になって落ち着かないため
- ・周囲を気にせず、集中して話をお聞きできるから
- ・周囲を気にせずにアドバイス、指導内容に集中できる
- ・集中しやすい
- ・集中できる
- ・他人の目を気にしてしまう
- ・どれでも良いと思う
- ・話をしていただくのに集中できる
- ・フィードバックに集中できる
- ・他スタッフの意見等を聞くことが出来る事もあったため
- ・他のスタッフによっては印象が違うこともあるため、その共有ができると思うから
- ・他のスタッフや学生から聞かれるのがあまり良いとは思わない
- ・周りの目を気にすることなく討論する事が出来るから

#### 4-(7) 態度面について SV からの指導はあったか



##### 「ある」場合の内容

- ・挨拶の声の音量大きくするように指導受けた
- ・考えが先に頭に浮かんでいる(回転が速い)
- ・患者さんへの言葉遣い。方言が多くなり、患者さんとの距離が近くなりすぎたため
- ・緊張しすぎ
- ・声が大きすぎる
- ・声が小さい
- ・言葉遣い
- ・自主性がない
- ・自主性が低い
- ・姿勢をもっと伸ばした方がやる気があるように見えるよとご指導いただいた
- ・自分の意見をもっと持つようにした方がよい
- ・社会人としての返事や対応の仕方
- ・少し硬いから、もっと楽にやって
- ・積極性がない
- ・積極性に欠けていた
- ・積極性に欠ける
- ・積極性の不足、レポートの期限遅れ



- ・積極的に
- ・立ち位置
- ・眠気が強く居眠りをしてしまった
- ・報告・連絡・相談の徹底
- ・もっと積極性が必要
- ・やや積極性に欠ける
- ・より多くの症例の見学に入れるように時間調整等の指導があった
- ・分からない所をもっとアピールしてほしい

#### 4-(8) 実習中にハラスメントを受けたと感じたことはあったか



##### 「ある」場合の内容

- ・1 日中観察する様にじーっと見られていた
- ・2 週間ほど休みがなかった
- ・課題量が多すぎる
- ・上記理由(声が小さい)で患者と一緒に言語訓練に参加させられた(1 週間ほど)
- ・飲み会での酒

#### 5-(1) 理学療法を実施する上での思考過程で悩んだ・困った項目



#### 5-(2) (1)の理由

評価	評価結果から次の評価へのつなぎ方がわからなかった
	現在様々な評価が出てきており選択も難しい。また、評価技術の未熟さ
	評価が出来ないと問題点も正確に出来ないから
統合と解釈	情報を整理しきれなかった
	患者の特性を考えているため
	知識が足りておらず、現象の理解が上手くできなかった。また、うまく説明する事が出来なかったため
	SV との解釈の相違があった
	患者様の障害像の把握が不十分でその後のプロセスに苦労したため

	評価と実際の問題点をつなげて考える事が難しく、アドバイスを多くいただいていたから
	視点の多さと病態の理解について十分にまとめる事が難しかった
	評価と解釈をつなげるのに苦労した
	その後の理学療法の流れを決めるものとなるため
	評価結果との結びつきに悩んだため
	評価結果をそれぞれ結び付けて考えるのが難しかったため
	知識不足で多方面からの解釈へと広げる事が出来なかったから
	分からなかったから
	評価と動作や ADL をむすびつける事が難しかった
	評価の統合・解釈を固めていないと自分の頭の中で患者像が浮かびにくかったため。後の考えがぶれてしまうため
	症状と評価をうまく関連づけることが出来なかった
	評価結果の相互の関係を見つけるのに苦労した
	一番重要なポイントを絞ることが難しかった
	評価結果をつなぎ合わせ、アセスメントするのが難しかった
	患者様を把握できず、なぜその評価結果に至ったか考えがまとめられなかった
	知識不足だったため原因を考えていくことが難しかった
	自身の文章能力と患者がなぜそうなっているのかという原因追及が甘かった
	評価結果から出たデータをうまく解釈する事が出来なかったため
	問題点と解剖学的理由をつなげる事が大変だった
	治療プログラムの立案、ゴールに関わる部分であるため
	つなげて考える事が出来なかった
	まとめ方に悩んだ
	考察との違いを整理できなかった
	評価結果をまとめていくのが難しかった
	複数の評価結果を統合して理解するのが難しかった
	うまく総合的に考えられなかった
	評価結果と動作のつながりが上手くできなかった
	バイザーとの意見を取り入れ悩む事が多かった
	評価結果からの解釈が偏ってしまう
	問題をまとめる事が苦手だったから
	考えがまとまらない、仮説が不十分
	偏りがあり視野が狭かった
問題点抽出	問題点を明確に出来ず方針がぶれた
	評価を経て適切な問題点をとらえるまでの一連の流れに苦労した
目標設定	老健内での実行できるゴール設定が患者の能力と合わせて考えると難しかった
	経験がない分、予後が明確にわからないため
	患者の予後予測が難しく、目標設定に悩んだ
	予後予測が出来ない
	維持期の経験不足
治療計画	治療をあまり学校でならっていない

治療	知っている介入法が少ない
考察	考えを文章で表現したり、考えをまとめる事が難しいと感じた
	一番のまとめであるため
	考えをまとめて表記する事が苦手であるため
	文章が苦手
	症例が複雑だったため
	知りたい知識、情報の文献がなかった
統合解釈	評価で得られた結果から考える事はテキストにもなく大変
考察	統合と解釈に時間を要した。また、考察についての書き方がよくわからなかった

### 5-(3) (1)に関して、SVの指導に満足できたか



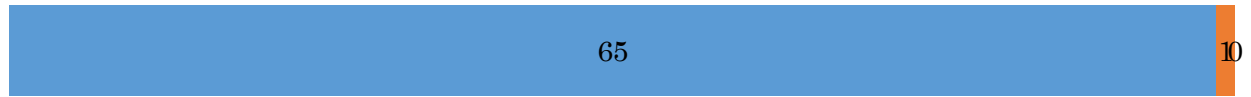
■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満

#### その理由

満足	疑問や納得しない点を質問し、すべて丁寧に答えてくださった
	他の人の見学を通してヒント(こういう考え方もある)を教えてくれた
	自分の疑問に対し、SVも一緒になって調べてくださったため
	適切に教えていただいた
	文献をお借りして指導して頂いたり、とても丁寧に指導していただきました
	考え方を指導していただいたから
	話を聞いたうえでより良い伝え方を指導してくださった
	少しずつヒントを出しながら考えさせてもらった
	細かい私の変化にまで気付いて声をかけてくれた
	自分に考える時間を与えてくれた、すぐに答えを言わないでくれた事
	自分の意見もわかってくださったため
丁寧に指導いただいた	
やや満足	具体例や図に模写して頂き整理に役立った
	自分がわからない事を辛抱強く指導してくれたため
	質問に対して回答していただいた内容が違う事があった
	親切に教えていただいた
	視野を広げていただける良い機会であった
どちらともいえない	何を分かってほしいのかが不明瞭だった
	指導法で前回言われたことと正反対の事を言われることがよくあった
	細かく指導されていないため
	自分の意見を尊重して下さるSVだったが、自信がない分もう少し指導をいただきたいかった
やや不満	一般的な意見しかなく、どこが問題なのか明確にできなかった
	スタッフの少なさも問題であると感じたから

	時間を考えてほしい
	具体的な説明がなかった
	フィードバックの度に言う事が変化する
	あまり指導されなかった

### 6-(1) 学校の課題に症例報告書の作成はあったか



■ あった ■ 課題にはなかったが作成した ■ 課題にはなく作成もしていない

### 6-(2) 【(1)で「あった」、「課題にはなかったが作成した」の方】 症例報告書をどのような形式で作成したか



■ ケースレポートとレジюме (1) ■ ケースレポートのみ (2)  
 ■ レジюмеのみ (3) ■ その他 (4)  
 ■ (1) と (4)

#### その他の自由記載

- ・ケースレポートとパワーポイント
- ・パワーポイント

### 6-(3) 症例報告書の作成に関してもう少し詳しく指導して欲しかったことはあったか



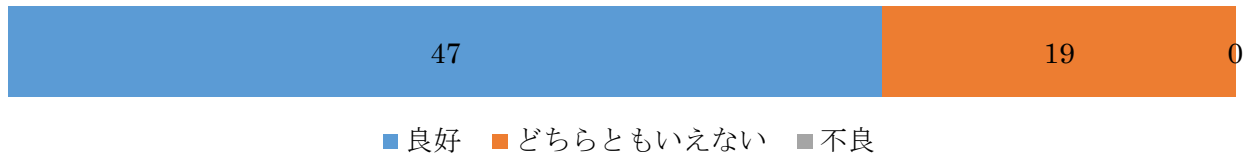
■ ある ■ なし

#### 「ある」の自由記載

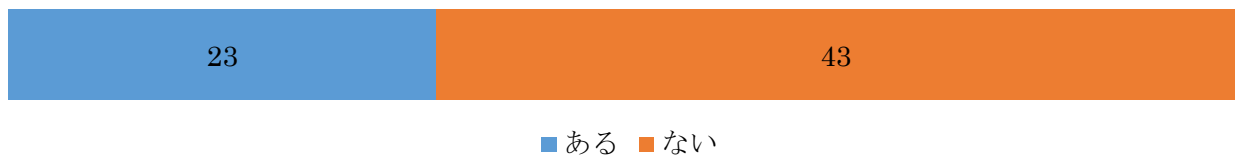
- ・SV の考え方、治療の仕方について
- ・書き方の例などを見せていただければ良かった
- ・考察などの書き方
- ・考察の進め方
- ・作成書式の説明がなく、何度もやり直しをした
- ・治療
- ・治療法(今思えば聞いとけばよかった)
- ・直す度に指摘される部分が違うため 1 回で不備と言ってもらいたい

- ・文献の引用
- ・目標設定について
- ・レジュメの作り方、流れなど型が欲しかった

### 7-(1) 患者様とのコミュニケーション



### 7-(2) 患者様とのコミュニケーションに関して、SV から指導を受けたことがあったか



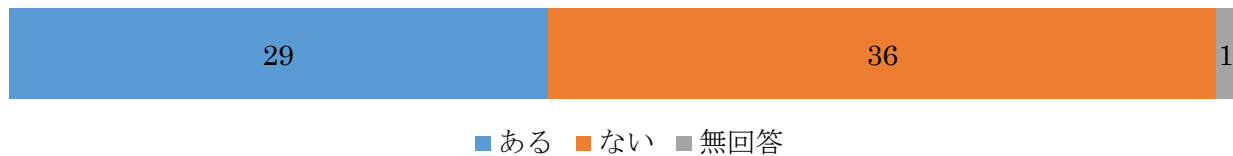
#### 「ある」場合の内容

- ・笑顔を心がけて、はっきりした口調で伝える
- ・家族等について聞いても良い方は聞く
- ・患者様の背景などにも興味を持つように
- ・患者さんと仲良くなるのが早すぎるかも
- ・距離が近くなりすぎた
- ・敬語の使い過ぎで上手く相手に伝わらない
- ・細かく具体的に聞くことが大切
- ・重度認知症に対するコミュニケーションの取り方
- ・接遇の仕方としてのコミュニケーション
- ・全失語の方に対してジェスチャーや表情から読み取る事
- ・沈黙も悪い事ではない。患者さんに合わせる
- ・何もやることがない時は利用者様とお話し
- ・認知、意欲の低い方との関わり方
- ・パーソナルスペースの見極め
- ・話し方、目線
- ・話が弾まず、コミュニケーションの取り方
- ・話すスピードについて
- ・もう少し積極的に会話に取り組むべき
- ・もう少し積極的に話す事
- ・もっとリラックスして会話しなさい
- ・問診の仕方に関して受けた
- ・よく表現の仕方に注目するように指導があった

### 7-(3) SV とのコミュニケーション



### 7-(4) SV とコミュニケーションをとる際に、困った経験はあったか



#### 「ある」場合の内容

- ・SV との距離感(質問や普段の会話等)
- ・意見について何も言われなかった
- ・忙しそうなので、いつ声をかけて良いのかわからない
- ・忙しそうにしている時の質問のタイミング
- ・かた過ぎると言われて、どこまで気軽に話しかければよいかかわからない
- ・聞くべき内容と自分で調べて聞く内容をどこで線引きするか
- ・気付いてほしい内容があいまいでよくわからない
- ・緊張してしまい、なかなか話せない事があった
- ・勤務が多忙であると感じ、声をかけて相談しづらい経験がある
- ・軽介助など説明が伝わりにくい
- ・合否を気にして積極的にはいけない
- ・コミュニケーションをとるタイミング
- ・質問したい内容を自分の中でうまくまとめられなかったとき
- ・スタッフルームと学生室が別々だったため会話する機会が少なかった
- ・成績が絡んでくるのが気になってしまった
- ・成績ばかり気にしてしまっていた
- ・多忙な方であまり時間をとってもらえなかった
- ・知識がないので、聞いて良いものか悩んだ
- ・伝えたいことがなかなかまとまらなかった
- ・何を考えているのか、思っているのかがわからなかったため、どのような話をすればよいかわからなかった
- ・悩みを抱えたまま実習を送ってしまう。なかなか吐き出せない
- ・慣れるまであまり話すことが出来なかった
- ・話しかけるタイミングがわからなかった
- ・分からない点、不安な点を的確に伝える事

## 8-(1) 検査・測定に関する指導に満足できたか



■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答

### その理由

満足	一緒に行って教えていただいた
	測定しやすい肢位などを見せながら教えてくれたため
	テキストにない事を教えてくれた
	呼吸器という関わったことの少ない症例に対して検査方法を見本を見せながら指導してくれた
	測定時に軸などを確認して下さったため
	丁寧に教えていただいたため
	丁寧に教えて頂いた。個人的に1対1で手技を教えて頂いた
	その都度フィードバックをもらったので
	理解できるまで時間をかけて指導していただけた。夜遅くなったが理解度はかなり高かったと思う
	患者の病態、身体構造による測定値のリスクなどを教えてもらった
	分からない部分は詳しく指導していただいたため
	実際に患者様に触らせてもらえる機会が多かったから
	何が違うかを1つ1つ丁寧に指導していただいたため
	細かく教えてくださった
	その都度訂正していただいた
	協力していただいて、困った時には話を聞いてもらった
	不足な点を指導するだけでなく練習も行ってくれた
実際に手本を見せてもらいながら指導してもらった	
SVが見本を示していただいたから	
やや満足	技術面の指導をもう少ししてほしい
	細かく教えてくれる
	臨床での細かい条件設定などを教えていただいた
	やり方を教えてくださったのは勉強になったが、自分の考えはあまり活かされなかった
	口頭での説明はあったが、実践して見せてもらえる事が少なかったため
	朝練を手伝ってくれたりしたため
	自分では気付けない点を指摘していただいた
	質問や違う点にはしっかり教えてくれた
	口頭での指導はあったが、具体的な感覚がわからなかった
	知らないやり方も教えていただいた
バッテリーで評価できない評価の書き方が難しい	
どちらともいえない	そこまで指導されなかった
	ほぼ1人で行っていったためフィードバックをあまりもらえなかった
やや不満	知識が足りないのに怒ってくる

実際に動かしながら指導してもらう、見ていてもらう等していただきかった
あまりなかった

## 8-(2) 治療に関する指導に満足できたか



■満足 ■やや満足 ■どちらともいえない ■やや不満 ■不満

### その理由

満足	今でも患者に行えているため
	ヒントをもらい、そこから考える事ができた
	具体的な治療法などを議論しながら決めたため
	自分にはない考えを教えてもらえた。とても勉強になった
	一緒に考え、行い、フィードバックしてくれた
	資料に関する情報をくださったため
	不足している点も助言していただいたため
	丁寧に実践しながら教えていただいたため
	SV 以外でも他スタッフからもご指導いただきました
	その都度フィードバックをもらえたので
	なかなか理解できずに何度も教えて頂き、そのおかげで新しい見方を身に付ける事ができた
	理解できるまで時間をかけて指導していただいた。夜遅くなったが理解度はかなり高かったと思う
	自身の治療に対してのフィードバックと足りない点のサポートをしてもらった
	ポイントを絞って教えて頂いたため
	実際に患者様に触らせてもらえる機会が多かったから
	問題点に対してどのような治療をすべきかを指導していただいたため
	教科書のものに加えて、臨床で実際に使っているものを教えてくださった
	根拠を持ちながら治療していくことを教えて頂いた
	色々な方向からの考え方を指導していただいたから
	不足な点を指導するだけでなく練習も行ってくれた
多く教えていただいた	
丁寧に指導いただいた	
解釈から戻り、どう治療すればよいか詳しく教わった	
やや満足	触り方や考察した内容との相違についてフィードバックがありわかりやすかった
	自分で考えた治療に対してのアドバイスはいただいたため
	どこが足りないのかを詳しく教えてもらいたかった
	ヒントを与えてくれつつ、自分で考えられるよう指導してくださったため
	アドバイスをしてくれるがその場で覚えきれない量だった
	分からない事もアドバイスいただけ
	介入方法を指導していただいた(資料を見せてもらいながら)



どちらとも いえない	気付かせようとしてくれるが、時間を取りすぎている
	自分の技術不足もあったが、技術的指導をもう少しいただきたかった
	急性期で患者がすぐに退院してしまった
	様々な方面からの意見が欲しかった
	ほぼ1人で行っていたためフィードバックをあまりもらえなかった
	なかなか習得するのが難しかったが詳しく教えてもらった
やや不満	メカニズムに沿った指導でなかった

### 8-(3) 文献や資料を調べる方法・手段について SV から指導があったか



### 9 理学療法士として働いている現在、実習の時にもっとこうしておけばよかったと思うことはあるか



#### 「ある」場合の内容

- ・PT の先生方の治療をもっと見ていればよかった
- ・SV ともっとコミュニケーションをとって、自分から質問すればよかった
- ・いろいろな方面から考え、評価し、アプローチしたかった
- ・多くの事を調べてから臨めば良かった
- ・机上の勉強と臨床とのつながりを考えて実習に行く事が出来ればよかった
- ・自身の担当患者ばかりに目が向き、見学した方の情報が少なくなってしまうことがあった。1人1人なぜその治療をするのか考えていけばもっと勉強になったと思う。
- ・事前に知識をつけてから実習に行くべきだった
- ・質問を多くしておけばもっと知識を深められたので
- ・自分の言いたい事をもっと表出すればよかった
- ・症例数、技術などより多く学びたかった
- ・積極的にもっと質問すればよかった
- ・たくさんの症例のトランスファー
- ・他職種との連携の練習経験を積む
- ・治療・基礎をもっと高めておきたかった
- ・治療についてもう少し勉強や質問をする事
- ・治療の目的、テキストにない評価の診方
- ・統合と解釈でつまづく事が多いので、そこをもう少し見ていれば良かったかなと思います
- ・バイザーともう少し話し合いたい

- ・評価、実際に人を診て
- ・評価、問題点抽出
- ・評価技術と統合解釈
- ・評価の統合と解釈について
- ・評価や治療を効率よく行うようなアドバイスがあれば、具体的にお聞きしたかったです
- ・文献集めとその内容理解
- ・文献等の調べ方も大切だと思った。
- ・文献をもっと読むべきであり考えるべきだった
- ・勉強時間の確保
- ・勉強しておけばよかった
- ・もう少し積極的に SV に質問するべきだったと思います
- ・目的をはっきりとさせて治療にあたるべきだった
- ・もっと疑問を持って質問等を行い、知識を増やしたかった
- ・もっと様々な患者様を見学し、アプローチ内容を見学すれば適応できると思いました。
- ・もっと質問すれば良かった
- ・もっと質問をしておけばよかった
- ・もっと積極的に具体的に質問する
- ・もっと積極的に質問してればよかった
- ・もっと積極的に質問すればよかった
- ・もっと単純な事でも質問すればよかった
- ・もっと幅広い疾患の症例を担当させていただきたかった
- ・もっと評価や動作分析の勉強をすればよかった
- ・もっと文献を読み患者のパーソナリティを見ればよかった
- ・もっとわからない事をたくさん聞いておけばよかった
- ・よく先生方の考え方を聞けばよかった
- ・より多くの手技に触れたかった
- ・リーズニングをしていく事
- ・リスク管理についてもっと学んでおけばよかった
- ・分からない事をもっと聞くべきであった
- ・分からない所は素直に聞ける勇気があれば良かった

**10 最終実習以外も含め、あなたが体験したすべての実習に関して、印象に残ることを教えてください。**

(楽しかったこと、嬉しかったこと、苦勞したこと、疑問に残っていること、心に残った SV からの言葉など、なんでも結構です)

見学	SV からコミュニケーションをとる方法の指導をいただいた
	小児に興味になかったが、見学実習を通して興味を持つことができた。視野が広がった
	問診で聞いた方が良い項目を一覧にして指導してくださった
	「新人とベテランの先生が患者からいただくお金は一緒である」と言われたこと
	初めての实習でなかなか理解するのに苦勞した
	患者さんとのコミュニケーション
	知識がない時にかみ砕いて教えてもらい、とてもわかりやすかったです。

	相談しづらかった
	見学では患者さんに触れる事は少なく、短期間のため慣れる前に終わってしまった事
評価	こんな PT になりたいと思える SV に出会えた
	統合と解釈に苦労した
	ROM 測定を上手くできなかった私に SV が業務終了後の時間を費やして自分の指導を行ってくださった。とても嬉しかった。
	「本気でやれば出来るんだから」と言われたこと
	課題は多かったが、良い所を褒めつつ、できない所はアドバイスをくれた
	(小児施設で)自我をとどめて相手を引き出すための努力をする事(出しすぎないということを教えていただき心に残っている)
	SV が 1 日の自分に対してのフィードバックもあり、自分の行動を振り返る事が出来た
	詳しく歩行分析を教えていただいた
	理学療法士に向いてないと言われた
	すべてが初めてだったため、課題に追われ睡眠時間がほとんどなかった
	ALS の患者さんの担当になった時
	評価の重要性を学んだ
	準備 8 割:準備次第で結果の 8 割は決まると教わった
	実際の患者さんだと評価は難しいこと
	学校でできて臨床の場ではなかなかできない事が多かった
	たくさん失敗する事の大切さ
	実習睡眠時間などあまりなく提出物も不十分であった時に CVA の担当患者様から飲み物を頂いたこと
	SV も一緒に考えてもらい、文献を教えてもらえたのはうれしかったです。
	実習最終日、SV から「どうしたいのか、何が知りたいか」という言葉をいただいた。SV とのコミュニケーション不足、自らの積極性不足を痛感した。
	統合と解釈に時間がかかり、SV だけでなく他のスタッフの方からも指導いただいたこと
	院内での症例発表の際に「質問されて止まってたけど、乗り越えろって思って助けませんでした」と SV に言われ、指導も厳しい SV だったので全部愛だったんだなと思いがたかった。
	「わからない事があって当然、今のうちにたくさん質問しなさい」という指導を受けました
	相談しづらかった
	SV の態度(患者への接し方など基本的なところが出来ていてすごく尊敬できる)
	もっと自分を出して行って良いんだよ
	学校では学べない運動力学について細かく教えて頂いた
	評価が不十分で慣れていなかったこと
	呼吸器リハの面白さを知った
	「PT とは」という基礎から 1 つ 1 つの疾患についての考え方など実習生に向けた講義をしてくださった
	患者様から、笑顔で話すからこっちも若くなれる
	通所リハの方を担当し、週 2-3 回だったので評価が十分だったが、不安を持つ事が多かった
	「人生楽しい方がいいよ」と言われたこと
スポーツリハを体験させていただいた	
困ったら主訴に戻ることが大切で、そうすれば道に迷わないから主訴を大切にしていこうと言われたこと	
動作分析が出来なく、SV から 4 時間フィードバックをもらった	

	「患者さんの前では堂々としなさい」と言われたこと
	家に帰った時のこと、睡眠時間などにも考慮してくださったこと
	SVにご飯等に連れて行ってもらう事が何度かあり、病院外でもコミュニケーションをとることができた
	レポートの書き方についてご指導いただいたが上手くまとまらず苦労した
	患者さんから「あなたの事は忘れないよ」と言われて嬉しかったこと
	分からない所について質問したが、はっきりと答えをもらえなかった
治療	患者さんから「あなたの事は忘れないよ」と言われて嬉しかったこと
	接遇の指摘
	間違っているところを指摘されるのですが、どこが間違っているのかわからないため考えようがなかった
	「どう指導したら分かるの？」と聞かれても答えられなかった
	「統合と解釈をしっかりとしないと先に進めない」との言葉はとても心に響きました
	統合と解釈が難しかった
	患者さんと話をしている時は楽しかった
	患者様が退院するまで関わらせていただき感謝されたこと
	患者様とのコミュニケーションの取り方を褒めていただいた
	維持期の病院に行き、ゴール設定を立てる事に悩んだ
	患者様が最期にどうしてほしいかまで知っていると言われたこと
	課題より患者様を優先してください
	受動的であった実習態度を、日々のフィードバックでアドバイスを頂き能動的へと変える事が出来た事
	SVの考え方でレジュメを書かなければいけなかった。治療に対するフィードバックをもらえなかったため、有効な治療をできなかった。
	身体の事だけでなく、高次脳機能や精神状態にも目を向けられると良い
	SVから「あきらめている」と言われたこと。性格的に合わず、コミュニケーションがうまく取れなかった
	患者様の状態や疾患、評価をうまく関連づける事が出来ず、レポートが進まなかった
	SVの治療の展開が新鮮だった。リハ後の患者が前に比べてとても生き生きしていた
	努力した人にはチャンスは必ず来る。だからチャンスが来たら絶対逃しちゃいけないとバイザーに言われたこと。
	「PTは患者様の身体を良くも悪くもする。わからない中自己判断で患者様にリハしない事」と言われました
	リハビリ拒否の患者様に対し、リハビリ意欲を見いだせなかった
	まずは技術よりもいかに患者の事を考えるか、自分が相手の事を思っているということを患者に伝えられるかが大切とSVに教えて頂きました。
	実際に患者様の治療をさせていただいて難しい事もたくさんありましたが、1番達成感がありました。
	実際にCTやMRIを見せていただき、様々な症例に対して深く考える事が出来た。ICUも見学させていただき驚きの連続だった
	患者様の問題点に対しどのようなアプローチをしたらよいか悩んでいたが、丁寧に指導して下さり勉強になった
	治療技術が高かった
	セラピストに自分へ見学に入らないでと言われて見学に入らないとなぜ見学に入らないのかと言われる
	人間性を褒められた
	患者さんからの感謝の言葉、家族からの手紙

患者様とのコミュニケーションと信頼関係構築の困難さ
実習先の都合で4年の実習ながらクラークシップになってしまったが、自分が興味を持っている内容を見学・体験できた
患者さんに対して治療を行い、その成果が出たとき
患者様に対して必死に考えて、寝る時間が必要ないくらい集中して行えた事
どれだけ患者様から治療費をいただいているか、それに見合った治療をする努力をしなければならない
担当患者が退院した後に同病院の訪問リハサービスを利用しその見学をすることができた。退院後の自宅での様子を見れてよかった
治療をしていく中で日々患者さんの状態が変化し、それに合った治療が出来なかった事
考えろ、考えろ、考えろと言われたこと
「笑顔が素敵」と言われたこと
維持期やターミナルの方との関わり方を教えていただきとても心に残っている
治療に正解はないと言われたこと
利用者様からハンカチを頂いたこと
解釈にとっても時間がかかってしまった
お疲れ様会で「頑張った」と言っていたこと
レポートについて褒められた
SVから動作観察から問題を抽出し治療するという課題に対して何もできなかった
治療方法
ケースが多くて眠れずに気を失う場面があった
患者様のために勉強する
SVより「よいしょ」と言わない様に指導されたが、すぐにSVも「よいしょ」と言って矛盾を感じた
嘔吐に苦しんだ
患者と雑談をしていたら「その会話に意味あるの」と言われた
矛盾、治療・評価の中断、患者の前で怒る
寝れなかった
時間の使い方(課題作成、睡眠時間)に苦労した
内部疾患について多くの症例を見学させていただき知識の構築へつながり嬉しかった
癖のある患者様で、対応、関わり方に困った
受け身ではなくもっと積極的に質問したり評価させてもらえるように動きなさいと指導いただいた
実際に治療を行う事で日々の変化を追えて患者の変化にも気付く事も出来楽しかった
はじめて若い患者様を担当させていただき良い経験になった
スタッフと一緒に食事に行く事が出来た
〇〇の理由でこの治療の方が良いよ
初めて心リハをさせていただき機会をいただき、様々な資料を見せていただきながら実習できた事。とても楽しく実習できました
治療をしてみて変化がどのようにあられるかという評価が重要
自分の人間性、性格を認めてくれ、今後を応援して下さったこと
評価、アプローチする際うまく患者様と接する事が出来なかった
患者様を先生方の前に連れてきていただき、その場で説明しながら治療のオリエンテーションを行った事。

認知症の患者様から最終日直前に名前を覚えてもらった
治療で患者様の変化を見ていくことが難しかった
熱心な SV であり、とても感謝しています。
実際に患者様に多く触れる事が出来た。SV に「とにかく患者に触る機会を増やせ」と言われた
SV だけでなく、他スタッフの方々から実習生活に対して「大丈夫？」の声かけがあった。とても嬉しかった。
医者との連携が密だった
レポート作成の大変さ
なかなか SV の先生が求めるレベルまで到達できず、次頑張れと言われたこと
患者さんが退院する時にお礼の言葉をいただいたとき
患者様に「お手伝いさん」のような扱いをされたこと
患者様を担当する責任の大きさを知った
医者の下請けにはなるな、PT は患者の人生を考える仕事と教わった事
患者様にとって本当にそれが必要な事か、したい事か、PT の思い違いではないか深く考えるべき
バイザーにレポートをあまり直されずに発表をして、うまく自分の考えがまとまっておらず苦労した
バイザーと良い関係を築けて質問しやすく勉強になった
患者様の笑顔が見れたこと
どの治療があっているのか悩んだ
SV から患者を取り巻く周囲(家族)までを評価しオールマイティな PT になれるようにという言葉が心に残っている
考えて考えて悩む事の大切さ
性格を見抜いてくださり、考えてくださっているんだと思った
評価に手間取って治療までいかなかった事
患者さんに手紙をもらった
最期のフィードバックでの言葉
サブケースの方にありがとうと最後言っていただいたこと
様々な患者様とコミュニケーションをとる事が出来て楽しかった
コミュニケーション
患者さんが亡くなったこと(担当患者)
最後の最後に「ありがとう」と言っていただけたこと
相談するタイミングに苦労した
SV への質問がまとまりがなく理解しにくいものであった。しかし、SV は丁寧に答えてくださった。
SV が学生時代の時のレポートを参考にを見せていただけて嬉しかった。
直接的には教えず、見学等を通して教えてくれるので達成感
バイザーの先生の指導や治療場面を見てここで働きたいと思った
県外からの学生と多く知り合えたため、交流の場が広がった
患者様それぞれに合わせた治療に考え方に苦労した
難しい症例の方から感謝の言葉をいただいたこと
バイザーの方に一緒に働きたいと言われたこと
スタッフ、他の学生と楽しく実習する事が出来た
人として優れた PT になってね

<p>感覚系の治療に力を入れており、十分理解するまでには至らなかったが、とても良い体験をさせていただきました。その後の実習にも活かせてます</p>
<p>苦しんでいる時に他の学生が近くに来てくれて励まされました</p>
<p>患者様から笑顔を見せてもらった事、ありがとうと言われたこと</p>
<p>アプローチして、わずかではあるが状態が改善した事</p>
<p>リハ主任が有名人で話しかけづらかったけど、もっと話してみたかった</p>
<p>どのように参加につなげられるかが最も重要であると教わった</p>
<p>「笑顔を意識、不安な顔は患者様に伝わる」との指導を受けました</p>
<p>しっかり経過を追うことが出来て良かったです</p>
<p>1人の患者様を2ヶ月担当させていただき、その患者様が良くなって退院していった時今までにない喜びを感じた</p>
<p>SVとのコミュニケーションがうまく取れず苦労した。こちらの思っている事とSVが思っている事が合わず悩んだ。フィードバック中にSVが出ていったまま放置された(1時間ほど)</p>
<p>治療でこれから食べていくんだよ</p>
<p>評価の正確さの大切さをSVに言われたこと</p>
<p>同じ実習生との情報共有の心強さ</p>
<p>ケースレポートがなかなか進まず、夜に友人たちと図書館で頑張ったこと</p>
<p>良くなったことにとっても嬉しくなったこと</p>
<p>PTとして働きたいと改めて感じた</p>
<p>見学を依頼しても断られ、他スタッフには相手にされずといった事がある</p>
<p>患者様に「そんなにうまく歩けなくてもいい」と言われ、PTは何をしていくべきか、患者様は何を望んでいるのか考えるきっかけになった</p>
<p>患者様の退院時に「あなたで良かった」と言われた</p>
<p>SVに総評で自分の長所・短所、実習で身に付いたことを聞いてためになった</p>
<p>患者さんを持つことの大変さ、責任</p>
<p>なかなか統合解釈に苦しんだが、SVからの指導・助言によりうまくまとめる事が出来た。さらに一緒に評価技術や治療練習をしてくださり細かい点までご指導いただいた</p>
<p>治療で考える中で色々な方向性からのアプローチがある事を教えてもらった</p>
<p>患者様とのコミュニケーションがよりよく行えるよう手紙でやり取りを行った</p>
<p>就職の誘い</p>